

10・21法大&国会デモへ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2014年10月3日
No.232

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

10・1 東北大・京大開講日に登場!

●京都大報告

京大は10月1日に開講を迎えました。昼休みに同学会の中央執行委員が食堂前に登場し10.15京大キャンパス集会と10.21国際反戦デーへのアピールを行いました。「松本総長を打倒した!学生の力で戦争を止めよう!自治会の路線転換に向けて、討論を開始しよう!」という書記長の呼び掛けに応じて、京大生や共に闘う仲間も次々と発言しました。

注目度はものすごく、一時間の昼休みの間に10.21の青い統一ビラが100枚以上も手渡しでうけとられました。

二日目の10月2日には、同学会執行委員会のビラが教室に1000枚配布されました。この日は山極総長の就任式が行われましたが、学生にはあまり知らされず、参加も許されず、午前中のうちに静かに行われたようで、総長と直接話すことは



10・1 東北大開講日に法大・洞口さんも登場!

できませんでした。

その代わり、テントを通りかかった何人かの学生と10.21について討論になりました。

大学の情勢として二つのことが学生、寮生の間でもかなり話題になっています。

まず、大学の世界ランキングが発表され、東大が辛うじて前回と同位の23位を維持した以外、日本の大学は全部順位を下げました。気になる京大は前回52位から7位下げて59位!

松本の大学改革は完全に破綻した!6年間の闘いで本当に松本を打倒しきったと胸を張りましょう。

さらに、昨日の開講日から、一部の授業で出席を確認するのに壁に新設したカードリーダーに学生証をタッチさせて出席をとるといことも始まっています。これが何の「基礎学力の向上」になるのでしょうか。本当に破綻しています。

10.21に向けて討論を進め、一人でも多くの学生の参加を勝ち取りたいと思います。(京都大・H)



東北大自治会執行部2人が10・21結集を訴える

【10/21国際反戦デー闘争】

10月21日(火)13時半～ 法政大学包囲デモ

15時半～ 国会デモ ※JR新橋駅・S.L広場集合

18時半～ 渋谷デモ ※代々木公園・ケヤキ並木集合

～大学の戦争協力阻止!「大学改革」粉碎! 安倍政権打倒!～



全学連大会に参加して

京都大・U

9月のはじめの残暑のなお厳しいとき、学生たちの今の大学への、社会への怒りが最も激しく、鋭く、そして希望を伴いながら発露されるこの大会へと私は友人たちとともに赴いた。大会当日の、すでにして陽は高くなった頃、私たちは会場近くの公園にいた。そこでは、私たちと同じような服装をした、しかし恐らくは最も今の社会では遠い彼方にいるあの連中が沸いて出ていた。彼らは私の女性としての姿をあざ笑い、まるで捕虜を目の前にして、相手を陵辱しながら勝利感と優越感とを味わいつくしている最中の兵士たちのようにあるのがわれわれだと誇示せんとしていた。その実、彼らは自由を奪われ、家畜以下の扱いを日々受けているにも関わらず、それにすら気づけず、最早他人の同情すら値しない生ける廃棄物と化しているのだが。このときに私はすでにして、勝利を確信した。いや、すでに勝利した。なぜなら、片方私たちは自らの奴隷状態に気づき、自らを縛る縄目を解きほぐし、多くの人を縄、鎖、枷から日々共にはずし、そのたびごとに人々を縛りつけているあの「資本家」と称するやからの正体を白日にさらし、自由な、解放された人間としての宣言を誇りと自信を伴いながら言えるのに対して、こちら側を刺さんとするあの連中は未だ縄で縛られていて、喜び、さらにきつい縄がむすばれることさえ望んでいるからだ。

大学が違えば、戦いの表層も異なる。京大にいる私は大学構内での学生への暴力と監視を日常経験しない。また、ウチナンチュウの学生の戦いも映像的な、あるいは肉体のレベルでの当事者としては未だ体感しえていない。しかしながら、ある現象の表紙をめくるときにでてくる本文を目にすると、私はその戦いが、すべての学生の戦いに共通するものを持つ



東北大で学生と次々結合

のだということ、各地の決して、今の社会では模範的とはされないが、それをむしろ誇りとし、さらには未来に希望を持つ英雄たち—しかし、誰もがなりうる。この世のたたえる「英雄」でなければ—は満天下に明らかにして余りあるほどだった。悪辣な資本家の群れに飼われた、この国は危ない、隣国と戦うために、若者よ、国を愛し、銃をとれ！とわめく。しかし、それをこの国と隣国の政府＝資本家による資本家のための国家経営評議会を労働者が打倒するのだと宣言するすばらしい革命宣言。資本家が肥え太ることができてこそ、豊かなんだとのたまわる者がいるとの声に対して、資本家が豊かになってもわれわれ＝プロレタリアートは貧しくなるばかりだ、ふざけるな、！との見事な喝破。そして明日からの戦いのための団結に責任を取りたいと名乗りあげた者たちのあの解放感に満ちたあの表情！私はこの見事なパノラマを前にして、舞台として演出されずに、脚本もなしにしかし出来あがった素晴らしい劇を見たかのような興奮と感動を覚えた—まるで、偶然に羅列された文字が素晴らしく猛々しい、勇壮な詩を生むような—しかし、これは転がされたさいころのようでは断じてない—プロレタリアートとしての自己解放の戦いを始め、その主体の確立ですすでにして勝利した者たちの団結、縛り付ける鎖を超えた、あの力がこの劇の幕を開いたのだ！

【当面する行動方針】

●●市東さんの農地強奪阻止！ 10・12三里塚全国総決起集会

10月12日(日) 正午～ 三里塚現地にて 【主催】三里塚芝山連合空港反対同盟

●11・2全国労働者総決起集会

◆世界の労働者と団結し、戦争と民営化の道を許すな！ ◆今こそ闘う労働組合を全国の職場に！

◆国鉄1047名解雇撤回・JR外注化阻止！ ◆集団的自衛権行使—改憲と戦争の安倍政権打倒！

◆福島を先頭に全原発廃炉へ！

11月2日(日) 正午～ 東京・日比谷野外音楽堂にて

【呼びかけ】全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部／全国金属機械労働組合港合同／国鉄千葉動力車労働組合

●武田雄飛丸君「無期停学処分」撤回裁判・第7回弁論

11月5日(水) 13時半～ 東京地裁615号法廷にて

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第3回公判

11月7日(金) 13時半～ 東京地裁429号法廷にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。